



歌川国芳×伊藤文人あそび絵くらぶ
伊藤文人：作・文 東京美術：出版社
幕末の浮世絵師と、現代のトリックアートのコラボレーション作品集。ハツと驚かす絵、さかさ絵、影絵など、時には本をひっくり返したり、10円玉を重ねたりして、不思議な絵の世界を楽しめます。

地域再発見ウォーキング

史跡などを歩いて巡り、地域の良さや魅力を再発見する「地域再発見ウォーキング」。
平成23年11月には、砥石城跡などで実施しました。2月は長船、3月は牛窓で行います。講師による解説もあります。事前に申し込みの上、ご参加ください。
歩きやすい服装と履き慣れた靴で参加してください。
参加費は300円（年間登録料）です。中学生以下は無料です。

- 【長船ウォーキング】
▽日時 2月25日（土） 午前9時～正午（小雨決行）
- ▽集合場所 鞆負神社（天王社）北側駐車場（国道2号線南側）



のんびりと史跡を歩いて巡ります

- 線南側）午前8時50分集合
- ▽コース 備前長船刀剣博物館・鞆負神社（天王社）・坂根堰など（瀬戸内市長船町～備前市方面）
- ▽持ち物 タオル・雨具（小雨のとき） など
- ▽申込期限 2月22日（水）
- 問い合わせ・申込先 中央公民館

【牛窓ウォーキング】

- ▽日時 3月3日（土） 午前9時20分～午後3時（小雨決行）

- 前9時20分～午後3時（小雨決行）
- ▽集合場所 瀬戸内市立美術館駐車場 午前9時20分集合
- ▽コース 千手山弘法寺・東寿院・千手山大門など
- ▽持ち物 弁当・飲み物・タオル・雨具（小雨のとき）
- ▽申込期限 3月1日（木）
- 問い合わせ・申込先 牛窓町公民館

中高年から始める「らくらくピアノ」講座

市内の各公民館で「らくらくピアノ」講座を開講していきます。
中高年のピアノ初心者が集い、互いの演奏を聴き、励まし合って、楽しんでいきます。楽譜が読めなくても簡単に演奏できます。楽しみながら

- 中高年から始める「らくらくピアノ」講座
- ※テキスト・冷暖房代別途
- ▽参加費 月2,000円
- 前11時30分
- ※テキスト・冷暖房代別途
- ▽持ち物 ノート・筆記用具
- ※キーボードの持ち込みもできます。
- 問い合わせ先 松下薫さん 0869・24・0976

Books



おやすみをいうまえに

エリシャ・クーパー…作 山本象…訳
バベルプレス…出版社

夕暮れの道を、お父さんが小さな娘と散歩に出かけます。近所の人や風景を眺めながらゆっくりと。徐々に夕闇が濃くなり、月が昇り、ゆったりとした時間の流れを感じられます。おやすみ前にお父さんに読んで欲しい1冊。

今月の月末図書整理日（お休み）は、
2月29日（水）です。
■貸し出し・問い合わせ先
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/index.htm>

瀬戸内発見伝

巻の八十五

連郭式の山城 砥石城 砥石城と宇喜多氏 その二

前回の巻の八十四では戦国大名に成長していった宇喜多氏の本貫地となった砥石城を巡る歴史や大賀島寺とのゆかりについて紹介しました。今回は『巨久町史』編纂事業で判明した成果を基に砥石城の構造について紹介します。

山城とは

合戦で勢力を確保して成長しようとする者の登場により内乱が頻発する南北朝時代以降、城の防御機能を強化することが重要になりました。そこで、見晴らしが効き近寄り

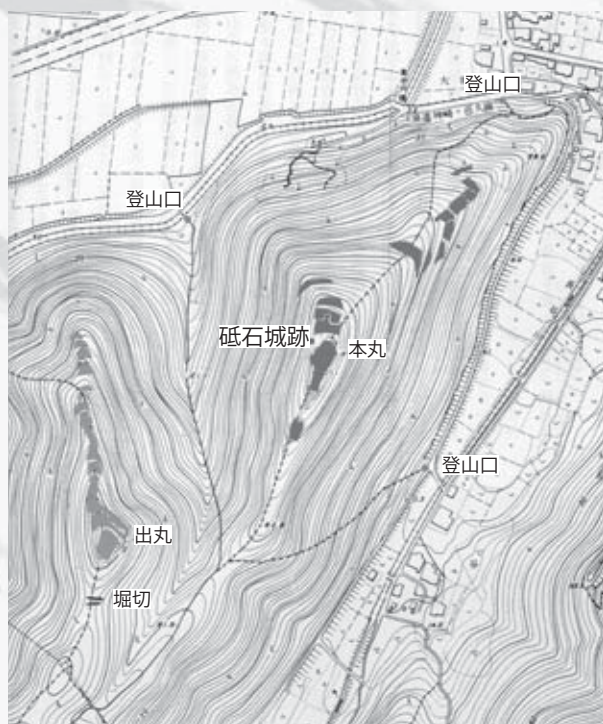
がたい自然の地形を利用して、山全体で防御を固めた城が築かれるようになりました。これを山城といい、砥石城も山城の一つです。

戦国時代でも15世紀の早い時期の城は、こうした山城が多く、平地に築かれた岡山城のように立派な天守閣が建てられ、高い石垣が築かれるようになるとは、16世紀の後半以降です。

砥石城ってどんな城

砥石城は、千町平野の南に張り出した標高101.1m

（ふもとからの比高は約96m）の砥石山とその西側の二つの丘陵の尾根筋に築かれた「連郭式」の山城です。
東側の砥石山の山頂に郭・曲輪と呼ばれる長さ45m×最大幅19mの細長い平坦部を削り出し本丸の主郭とし、東西の端には野面積の石垣が積み重ねられています。主郭の北側に4段、南側に1段の曲輪を構えています。



砥石城跡要図

さらに、主郭から北東方向に下がった尾根筋に9段からなる出曲輪で大手筋を防御しています。このように本丸は南北約300mからなる縄張りで城郭を固めています。

一方、本丸から谷を隔てて西200mの標高107.2mの丘陵は砥石城の出丸（出城）と呼ばれ、尾根の基部近くを切つて堀にする「堀切」を備え、頂部を出丸主郭とし、南北26m×東西18mの平坦面の南・東・西辺の一部に土塁を「コ」字状に築いています。

主郭に続く北西方向の2段の曲輪は自然の地形を巧みに利用し出丸主郭を谷筋からの攻めに對して固めています。さらに尾根の北側に向かい9段の曲輪を配備しています。

一見するとただの山としか見えない砥石城跡ですが、実際に足を運び、千町平野を望みながら、砥石城を築城し戦国大名となった宇喜多氏に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

【参考文献】

『巨久町史考古編』平成18年



砥石城跡全景（中央が本丸、右が出丸）